

2.3.2.3 記述問題を作成する

記述問題とは、学生が言葉やフレーズを解答する形式の問題です。正答がはっきりしている単語を答えさせる場合だけでなく、長いフレーズなど複数の正答がありうる場合にも使用できます。また、予想される解答に応じた点数配分をあらかじめ設定しておくこともできます。



①問題タイプ選択画面から「記述問題」を選んで「追加」ボタンを押します。

▼一般

カテゴリ
テストのデフォルト (3)

問題名
記述問題

問題テキスト
島根大学の英語表記は？

デフォルト評点
10

全般に対するフィードバック

大文字小文字の区別
いいえ、大文字小文字は重要ではありません

②表示された画面で下の項目を選択・入力します。

- (i) **カテゴリ**：この問題を登録する問題バンクのカテゴリを選びます。
- (i) **問題名**：問題の名称を入力します。
- (ii) **問題テキスト**：問題文を入力します。画像を挿入することもできます。
- (iii) **デフォルト評点**：正答に対する評点を入力します。
- (iv) **全般に対するフィードバック**：受験し終えた学生に表示するコメントを入力します。例えば、問題をよりよく理解するための参考情報へのリンクを示すこともできます。
- (v) **大文字小文字の区別**：解答に対して大文字小文字の区別をするかどうか選択します。例えば、「Shimane」と「shimane」のどちらでも正解の場合、「いいえ、大文字小文字は重要ではありません」を選択しておきます。区別する場合は「はい、大文字小文字を区別します」を選択します。

2. コースを編集する

▼ 答え

答え 1
Shimane University 評点 100%

フィードバック
正解!

答え 2
shimane university 評点 50%

フィードバック
誤りは合っていますが、固有名詞の場合、最初の一文字は大文字にします。

答え 3
* 評点 なし

フィードバック
不正解です。島根大学の大学案内やホームページで確認しましょう。

さらに 3 件の答え入力欄を追加する

(vi) **答え 1～**：問題に対する解答と、その解答を選択した場合の評点の割合、各解答に対する学生へのフィードバックを入力します。誤答した学生にもフィードバックのコメントを表示させたい場合、最後の「答え」の欄に「*」（アスタリスク）を入力します。「*」は全ての文字に合致するワイルドカードを意味します。上で入力した解答以外の文字全てに対して誤答の判定をして、コメントで指導を促すことができます。

▼ 複数受験

それぞれの不正解に対するペナルティ
33.333333%

ヒント 1

ヒント 2

別のヒントを追加する

(vii) **それぞれの不正解に対するペナルティ**：小テストの設定で「アダプティブモード」を選択している場合、学生は受験の最中でも複数回の解答を行うことができます。例えば、学生の解答が間違っている場合、学生はすぐに解答しなおすことが許されます。その場合、2回目以降の解答で正答した場合に評点を下げることができます。例えば、問題の正解が3点、ペナルティが33.333333%の場合、学生は1回目の解答で正解すれば3点を獲得します。2回目の受験で正解した場合は2点を、3回目の受験で正解した場合は1点となります。また、それぞれの解答回数毎にヒントを表示させることもできます。

③作成後「変更を保存する」を押して終了します。

変更を保存する

キャンセル